

2026 年 8 月 6 日

<プレスリリース>

ネットワンシステムズ株式会社
SCSK セキュリティ株式会社

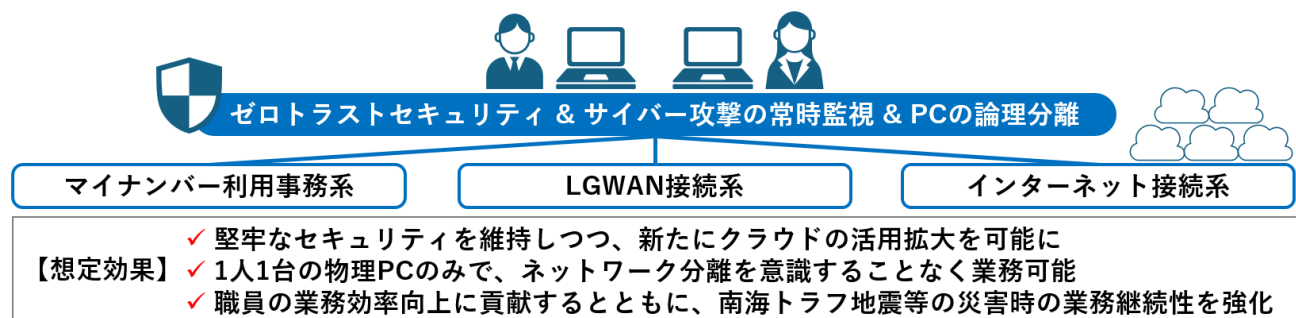
ネットワンシステムズ、SCSK セキュリティとともに、 ゼロトラストセキュリティを全面採用した愛媛県庁の次期ネットワーク基盤を受注 ～職員の業務環境を、インターネットを中心とする新しい三層分離モデル(β'モデル)に移行 クラウドの活用拡大を可能にし、業務効率向上・災害対策強化に貢献～

ネットワンシステムズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：竹下 隆史）は、SCSK セキュリティ株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：市場 健二）とともに、ゼロトラストセキュリティを全面採用した愛媛県庁の次期ネットワーク基盤を受注しました。稼働開始は 2027 年 1 月を予定しています。

本環境は、高度なセキュリティ対策を導入することで、職員の業務環境を、インターネットを中心とする新しい三層分離モデル（β'モデル^{※1}）に移行するものです。

これによって、従来通り「マイナンバー利用事務系」「LGWAN 接続系」「インターネット接続系」の 3 層にネットワークを分離して堅牢なセキュリティを維持しつつ、新たにクラウドの活用拡大を可能にし、職員の業務効率向上に貢献するとともに、南海トラフ地震等の災害時の業務継続性を強化します。

ゼロトラストセキュリティを全面採用した愛媛県庁の次期ネットワーク基盤 職員の業務環境を、インターネットを中心とする新しい三層分離モデル（β'モデル）に移行



■ 背景

従来、愛媛県庁は職員の業務効率向上に向けて三層分離の「α'モデル^{※2}」を先行採用し、堅牢なセキュリティを維持しつつ、ローカルブレイクアウトによって特定のクラウドを利用可能にしていました。

愛媛県庁は今後のさらなるクラウドの利用拡大を見据え、この度、「α'モデル」からインターネットを中心とする「β'モデル」へ移行することにしました。

■ 次期ネットワーク基盤の詳細

SASEによる、「場所を問わない働き方」と「クラウドの安全な活用」の両立

現在、職員は閉域 SIM を利用することで、利便性高く外部から庁内システムを利用しています。今回、さらなる利便性の向上とセキュリティ強化を両立するために、Cato Networks の SASE (Secure Access Service Edge) ソリューション「Cato SASE Platform」を採用します。

これによって以下 4 つの機能を実現し、閉域 SIM の契約満了後はインターネット環境から庁内システムやクラウドへ安全に接続可能にするとともに、クラウド利用時のセキュリティ強化を実現します。

- ✓ Zero Trust Network Access：自宅・外出先のインターネット回線から、庁内システムやクラウドへ安全に接続
- ✓ Cloud Access Security Broker：クラウドの利用状況を可視化・制御
- ✓ Data Loss Prevention：機密情報の外部へのアップロードを防ぎ、情報漏えいを防止
- ✓ Secure Web Gateway：悪意のある Web サイトへのアクセスを遮断し、安全な Web 利用を確保

EPP・EDR・SOCによる、サイバー攻撃の防御・監視・速やかな対処

今回の「βモデル」への移行に伴い、職員の業務環境がインターネット中心となるため、業務効率が向上する一方で、従来よりも高度なセキュリティ対策が必要になります。

これに対応するため、SASE・EPP (Endpoint Protection Platform) ・EDR (Endpoint Detection and Response) を新規導入及び追加拡張するとともに、これらのセキュリティシステムのログやアラートを統合して常時監視・分析・対処する専用の SOC (Security Operation Center) を設置します。

これによって、サイバー攻撃の常時監視、有事の際の通知及び影響範囲の調査、感染端末のネットワークからの隔離などの速やかな対処を実現します。

PCの論理分離による、単一端末での三層分離

従来、職員は「マイナンバー利用事務系」「LGWAN 接続系」「インターネット接続系」の 3 層の業務ごとに複数台の PC (物理 PC 及び仮想デスクトップ) を使い分けており、操作や運用が煩雑でした。

今回、「βモデル」における愛媛県庁独自の取り組みとして、ハミングヘッズ株式会社の PC 内を論理分離するソリューション「セキュリティプラットフォーム」を採用することで、職員はネットワーク分離を意識することなく、1 台の物理 PC のみで、3 層の業務ごとにネットワーク接続先・データ・アプリケーション等を完全に分離してセキュリティを担保します。これによって、さらなる職員の利便性向上を実現するとともに、PC 台数の削減や仮想デスクトップを不要とすることでコストを削減します。

■ お客様のコメント

愛媛県 企画振興部 デジタル戦略局 スマート行政推進課様より、以下のコメントを頂いております。

「愛媛県では、従来の三層分離モデルによるセキュリティを維持しつつ、さらなる業務効率の向上を目指し、インターネットやクラウドサービスの利用拡大、境界型防御にとどまらない強固なセキュリティの実現、そして将来的な端末 1 台化への対応、災害時の業務継続強化等を検討してまいりました。

この度、ネットワンシステムズおよび SCSK セキュリティとともに、ゼロトラストセキュリティを採用のうえ、βモデルへの移行、PC の論理分離などにより、本県の課題を抜本的に解決する次期ネット

ワーク基盤を構築する運びとなりました。本県の行政基盤を支える重要なパートナーとして、両社の高度なネットワーク技術とセキュリティ技術に大いに期待しています。」

※1 「β'モデル」

自治体のネットワークを 1) マイナンバー利用事務系、2) LGWAN 接続系、3) インターネット接続系の 3 層に分離してセキュリティを確保する際に、職員が主に使う端末や業務システムをインターネット接続系に設置するモデル。これによって職員の利便性が高まる一方で、端末に対する高度なセキュリティ対策が必要になる。

※2 「α'モデル」

職員が主に使う端末や業務システムを LGWAN 接続系に設置するとともに、ローカルブレイクアウトを採用することで、LGWAN 接続系から特定のクラウドサービスを利用可能にするモデル。

ネットワンシステムズ株式会社について

ネットワンシステムズ株式会社は、優れた技術力と価値を見極める能力を持ち合わせる ICT の目利き集団として、その利活用を通じ、社会価値と経済価値を創出するサービスを提供することで持続可能な社会への貢献に取り組む企業です。常に世界の最先端技術動向を見極め、その組み合わせを検証して具現化するとともに、自社内で実践することで利活用ノウハウも併せてお届けしています。

SCSK セキュリティについて

SCSK セキュリティは、サイバーセキュリティ対策に特化した SCSK グループの専門事業会社です。SI 事業で培ったコンサルティング・基盤構築・運用サービスと、最新技術を活用した高品質なプロダクトを組み合わせることで、顧客企業のサイバーセキュリティリスクを低減するとともに、セキュリティ領域における投資対効果を最大化させ、安心・安全な社会の実現に貢献いたします。

※ 記載されている社名や製品名は、各社の商標または登録商標です

<本件に関する報道関係各位からのお問い合わせ先>

ネットワンシステムズ株式会社 広報チーム：西田、今泉

E-mail : media@netone.co.jp

SCSK セキュリティ株式会社 管理本部 コーポレートマネジメント部 広報担当

E-mail : koho@scsksecurity.co.jp